

# オンラインツアー開催 仮想キャンパス

やパソコンを通じて仮想空間に集合。在学生が案内役となり、音声を交えて学内のスポットなどを紹介した。



4年

手島 慶祐

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、受験前に広島工業大（広島市佐伯区）を訪れることができない高校生たちのために、オンラインで「バーチャル（仮想）キャンパスツアー」が開かれた。大学院1年の奥川航大さん(22)たち12人の学生が企画。仮想のキャンパス内を案内した。

参加者は、スマートフォンやパソコンを通じて仮想空間に集合。在学生が案内役となり、音声を交えて学内のスポットなどを紹介した。

ツアーは、建築デザインを研究している奥川さんが5月に制作した「バーチャル工大」のシステムを活用。6月に新入生たちを案内したツアーが好評だったことから、ほかの学部の学生にも呼び掛けて今回のツアーを計画した。

奥川さんは「大学の魅力を伝えることができて良かった。今後は、より実物のキャンパスに見えるよう再現の質を高めていきたい」と満足した表情で話していた。



## 広島工業大



バーチャルキャンパスツアーの手応えを語る奥川さん(左)たち